

感染症を正しく学べる！はたらく細胞
ウイルス＆細菌図鑑

講談社



2020年に「全国学校図書館協議会選定図書」、「学校がすすめる夏休み子どもの本2020」に選ばれた『からだのしくみを学べる はたらく細胞 人体のふしぎ図鑑』の続編となるウイルス＆細菌図鑑です。アニメのイラストを多数使いながら「ウイルス」「細菌」を解説。小学校中学年以上対象。（あぶた読書の家所蔵）

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日
みずうみ読書の家 (☎ 76-2100)
※現在改修工事中 [あぶた読書の家]
洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽▽アツカムイチ

やん（渡辺浩徳）▽「暮らし

とからだに効く植物の名前」

300がよくわかる図鑑（主

婦と生活社）▽白衣（下村敦

史）▽医学のひよこ（海堂尊

▽エレジーは流れない（三浦

しをん）▽薔薇のなかの蛇

（恩田睦）▽小福ときどき災難

（群ようこ）▽東京のぼる坂

くだる坂（ほしおさなえ）▽

破天荒（高杉良）▽感染捜査

（吉川英梨）▽カード師（中村

文則）▽悪の芽（貫井徳郎）

▽出紋と花かんざし（佐伯泰

英）▽菓子屋横丁月光荘 丸

窓（ほしおさなえ）

△**児童書**▽世界でいちばん

美しいこども元素ずかん（セオ

ド・グレイト）▽絵本江戸のく

らし（太田大輔）▽感染症を

正しく学べる！はたらく細胞

ウイルス＆細菌図鑑（講談社）

▽森の歌が聞こえる（小手鞠る

い著／平澤朋子絵）▽悪ガキ7

いたずら twins、南の国

へ（宗田理著／いつか絵）

■洞爺総合センター図書室

△一般▽▽ノースライト

（横山秀夫）▽百年と一日（柴

崎友香）▽自転しながら公転

する（山本文緒）▽硝子の塔

の殺人（知念実希人）▽六人

の嘘つきな大学生（浅倉秋成）

▽犬がいるから（村井理子）

▽海をあげる（上間陽子）

△**児童書**▽あしたもオカピ

（斉藤倫）▽あなふさぎのジグ

モンタ（とみながまい著／た

かおゆうこ絵）▽カラスのいい

ぶん（嶋田泰子著／岡本順絵）

▽エカシの森と子馬のポンコ

（加藤多一著／大野八生絵）

絵本の玉手箱 10月のおはなし会

■日時 10月11日（月）10月25日（月）
10時～11時30分

■場所 あぶた母と子の館

■キッズタイム 英語で遊ぼう！（歌、絵本の読み聞かせ、ゲーム、ダンス）事前予約が必要

■日時 10月23日（土）10時～11時30分

■場所 あぶた母と子の館

■問合せ 佐藤（☎ 76-2487）

※マスク着用の参加をお願いします。人数制限を行うこともありますのでご了承ください。

地域おこし協力隊



通信

vol.43

今月の
リポーター
室田崇行さん



はじめまして。4月より洞爺湖漁業協同組合で組合員の皆さんと活動している室田です。私は、洞爺湖町出身で高校を卒業するまでは洞爺湖温泉で生活していました。その後は、洞爺湖町と地域総合交流協定を結んでいる酪農学園大学の環境共生学類に進学。生まれ育った洞爺湖町を離れることになりました。

洞爺湖町を離れてみると、それまでは当たり前のように生活していた場所が特別な環境の場所だということを実感しました。酪農学園で環境について学ぶにつれ、いずれは戻って学んだことを地元で還元し、美しい環境を残すため少しでも力になれると思うようになりました。

ある利尻島の利尻山で登山道整備の仕事をし、冬はニセコでスノーボードをしながらボードのメンテナンスの仕事をしていました。どちらも洞爺湖町と同じで自然からの恩恵を受けて観光客が訪れる場所でした。これからは漁協での活動を通して、洞爺湖の魅力や自然環境を町内外の人たちに伝えていきたいです。そして、ワカサギやヒメマス

の漁場である洞爺湖の生物多様性保全についても取り組んでいきたいです。



洞爺湖の漁業の様子

卒業後は同じ国立公園で